

## 別紙

## I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	地域活性化措置	音別町憩いの森 整備事業	釧路市	4,212,000	3,382,000	

II. 事業評価個表

番 号	措 置 名	交 付 金 事 業 名			
1	地域活性化措置	音別町憩いの森整備事業			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		釧路市			
交付金事業実施場所	釧路市音別町音別原野 音別町憩いの森 内				
交付金事業の概要	利用者の安全確保のため、炊事場等施設の経年劣化箇所の修繕を行うもの。				
総 事 業 費	4, 212, 000円	交付金充当額	3, 382, 000円		
		うち文部科学省分			
		うち経済産業省分	3, 382, 000円		
交付金事業の成果及び評価	<p>供用開始から30年が経過し施設の老朽化が進み、利用に支障が出ていたことから、改修によって利用者の安全確保と施設の長寿命化を行った。</p> <p>施設改修が直接的な理由となったかは検証できないものの、本年3月の北海道横断自動車道 白糠IC開通の効果もあり、平成27年度のキャンプ場利用者数は昨年度比4%増の8, 445人となり、豊かな自然を存分に体感できる場として多くの市民や観光客に活用されている施設であるといえる。</p>				
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約					
契 約 の 目 的		契 約 の 方 法		契 約 の 相 手 方	契 約 金 額
施設改修工事		指名競争入札		瀬戸建設株式会社	4, 212, 000円
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無					
なし					
本事業に來年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方					
なし					
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度   なし					

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。  
(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。  
(3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。  
(4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。  
(5) 成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合には、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。  
(6) 本事業に來年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、來年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補 修又は維持運営等措置	釧路市阿寒町サイクリングターミナル・ 丹頂の里保養センター自転車置場改修工 事	釧路市	5,378,400	3,490,000	

II 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	釧路市阿寒町サイクリングターミナル・丹頂の里保養センター自転車置場改修工事	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		釧路市	
交付金事業実施場所	釧路市阿寒町上阿寒		
交付金事業の概要	自転車置場改修工事（特産品販売所とするための内装改修工事）		
総事業費	5,378,400 円	交付金充当額	3,490,000 円
		うち文部科学省分	
		うち経済産業省分	3,490,000 円
交付金事業の成果及び評価	<p>阿寒町サイクリングターミナル・丹頂の里保養センターは、昭和63年に整備を行い、住民の保養施設として利用者の健康管理及び福祉の向上を図るとともに、観光振興等による地域の活性化に寄与してきたところではあるが、道東道阿寒ICの供給開始に向け、当施設の自転車置場の内、現在使われていない部分を特産品販売所として活用する。本事業の実施後は、日中滞在拠点化を進めて、交流人口の拡大により更なる地域活性化に繋げることが可能となり、利用者の利便性向上を図ることができるほか、当該施設全体の利用者数増加などの効果が期待できる。</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	釧路市阿寒町サイクリングターミナル・丹頂の里保養センター自転車置場改修	指名競争入札	迫田建設株式会社
			契約金額
			5,378,400 円
			円
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
特に予定なし			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
今後においても同様の事業を実施する際には、本交付金を活用する予定である。			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			特に予定なし

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。  
(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。  
(3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数位を用いて記載すること。  
(4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。  
(5) 成果及び評価に係る第三者機関を活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。  
(6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の見直し等について記載すること。

## 別紙

## I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補 修又は維持運営等措置	阿寒町中央公園野外ステージ改修工 事	釧路市	2,516,400	2,314,000	
2	公共用施設に係る整備、維持補 修又は維持運営等措置	映像機器更新事業	釧路市	213,840	200,000	

II 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	阿寒町中央公園野外ステージ改修工事		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		釧路市		
交付金事業実施場所	釧路市阿寒町新町2丁目			
交付金事業の概要	中央公園野外ステージ改修工事（基礎、一部鉄筋取替、鉄骨床組設置及び木製床ステージ改修・塗装）			
総事業費	2,516,400 円	交付金充当額	2,314,000 円	
		うち文部科学省分		
		うち経済産業省分	2,314,000 円	
交付金事業の成果及び評価	阿寒町中央公園野外ステージは、昭和51年に地元社会奉仕団体より寄贈された組み立て式のものであるが、寄贈を受けてから39年が経過しているために劣化が進み、一部の鋼材にゆがみも発生し、怪我や事故も心配されることから、早急な改修工事が求められていた。本事業の実施後は、地域住民の安心、安全とコミュニティの醸成に寄与することができるほか、利用者の利便性向上や利用者数増加の効果が期待される。			
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
	阿寒町中央公園野外ステージ改修工事	指名競争入札	迫田建設株式会社	2,516,400 円
				円
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無 特に予定なし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方 今後においても同様の事業を実施する際には、本交付金を活用する予定である。				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			特に予定なし	

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。  
(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。  
(3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数位を用いて記載すること。  
(4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。  
(5) 成果及び評価に係る第三者機関を活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。  
(6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の見直し等について記載すること。

II 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称	
2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	映像機器更新事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		釧路市	
交付金事業実施場所	釧路市阿寒町富士見2丁目及び釧路市阿寒町阿寒湖温泉5丁目		
交付金事業の概要	ビデオカメラ 1台 (仕様) 動画時有効画素数: 229万画素数 (16:9)、動画時ズーム: 光学30倍 (デジタル350倍)、 印字方式: ドットインパクトタイプ、記録メディア: 内臓メモリー・ マイクロSD/SDHC/SDXCメモリーカード、連続撮影: 2時間  プロジェクター 1台 (仕様) 3LCD方式、フルカラー、有効光束: 3000lm程度、カラー光束: 3000lm程度 書画カメラ (撮像素子: 約200万画素、撮像範囲: 363×272mm、4倍デジタルズーム)		
総事業費	213,840 円	交付金充当額	200,000 円
		うち文部科学省分 うち経済産業省分	200,000 円
交付金事業の成果及び評価	阿寒幼稚園にて保有しているビデオカメラは、平成16年に寄贈されたものであり、寄贈から11年経過しており、またマリモ幼稚園で保有しているプロジェクターについても、平成9年に導入され購入から18年が経過しているため、双方とも経年劣化による故障により使用に支障をきたし、改修するための交換用部品の製造が中止となり、修理が不能な状態となったため、当該設備の更新が求められていた。 本事業の実施後は、幼稚園で開催する行事などを円滑に行うことが可能となり、教育環境の充実が図られ、幼児の心身の健全な発達の助成も期待される。		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	映像機器更新事業	随意契約	有限会社大平デンキ
			213,840 円
			円
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無 特に予定なし			
本事業に來年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方 今後においても同様の事業を実施する際には、本交付金を活用する予定である。			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			特に予定なし

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。  
 (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。  
 (3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数位を用いて記載すること。  
 (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。  
 (5) 成果及び評価に係る第三者機関を活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。  
 (6) 本事業に來年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、來年度以降の本事業の事業の見直し等について記載すること。